

平成2年度 研究集録

「豊かな人間性を育てる特別活動」

◎ まえがき

部会長

若松 義明

- ・ 互いを認め合い、ささえ合う豊かな心を育てる教育に特別活動が果たす役割は大きい。
- ・ 新学習指導要領実施を踏まえ、年間指導計画の作成や新設された学級活動の効果的な指導の在り方についての研究を進めた。

◎ 学校ぐるみで取り組む特別活動を

指導主事

沼田 稔

- ・ 「なすことによって学ぶ」特別活動の基本理念に基づき、教師集団の共通理解や地域社会との連携を深めて、その相乗効果を期待する。
- ・ 子供の自主性・主体性を生かし、自己実現を図る学校行事の成功は大きな成就感・満足感を与える。

◎ 実態のとらえ方を見直す

指導主事

三輪 一彦

- ・ 特別活動改善の趣旨に「児童生徒の実態に応じた弾力的な指導」が上げられている。一人一人の子供の内面や、問題行動の背景を探る努力なくして「実態に応じた」指導はあり得ない。

第1部 小学校編

◎ 学級の問題をみんなで解決する学級活動

- 1 題材名「雨の日にみんなでなかよく遊ぼう」＜低学年＞
- 2 題材名「きんぎょをかわいがろう」＜低学年＞
- 3 題材名「雨の日の遊びを考えよう」＜中学年＞
- 4 題材名「男女なかよくリレーをしよう」＜中学年＞
- 5 題材名「ペア遠足のときの過ごし方考えよう」＜高学年＞
- 6 題材名「サッカー集会を開こう」＜高学年＞
- 7 題材名「ロッカーの整頓計画を検討しよう」＜高学年＞
- 8 題材名「協力してたてわり掃除をしよう」＜高学年＞

◎ 温かい人間関係を培う学級活動

- 1 1年生の発達段階を生かし、互いの良い点を分かり合わせる指導
- 2 仲良く助け合うことができる児童を育てる指導
- 3 「行動予測テスト」を活用した友達の見方・感じ方を見直す指導
- 4 相手の立場に立って考えさせる指導

◎ みんなが生き生きと活動させる児童会活動

- 1 代表委員会への出席者のつながりを大切にさせる指導
- 2 交流を深める全校児童集会活動
- 3 参加意欲を高める全校児童集会活動
- 4 互いの立場を理解し、励まし合って活動させる指導
- 5 参加する喜びを味わわせる全校児童集会活動
- 6 生き生きと活動する児童を育てる集会活動

- ◎ 児童の興味・関心を促し進んで活動するクラブ活動
 - 1 楽しく，互いの活動を認め合うゲートボールクラブの指導
 - 2 互いの活動を認め合うオセロクラブの指導
 - 3 自ら楽しさを求めて活動するサッカーボールクラブの指導
 - 4 互いの活躍を認め合わせるスポーツクラブの指導
 - 5 自ら楽しさを求めて活動する地学クラブの指導
 - 6 ペア活動を生かした楽しい一輪車クラブの指導

- ◎ 児童に参加の喜びを味わわせる学校行事
 - 1 参加の喜びを味わわせる遠足・宿泊的行事
 - 2 参加の喜びを味わわせる勤労生産・奉仕的行事
 - 3 参加の喜びを味わわせる学芸的行事
 - 4 参加の喜びを味わわせる健康安全・体育的行事

第2部 中学校編

- ◎ 問題解決の態度を育てる学級活動
 - 1 自ら進んで取り組む態度を育てる学級活動
 - 2 仲間意識を育てる学級活動
 - 3 自分の力で進路の疑問点を解決していく学級活動
 - 4 進路発達に応じた進路指導
 - 5 自分自身を見つめて将来を見通す学級活動

- ◎ 活動意欲を高める生徒会活動
 - 1 生徒の活動意欲を引き出す生徒会活動
 - 2 地域との交流を深める生徒会活動
 - 3 学級との連携を深める生徒会活動
 - 4 主体的に実践できる態度を育てる生徒会活動
 - 5 意欲的に取り組む態度を育てる生徒会活動

◎ あとがき

委員長 峯田幸夫

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 新設された「学級活動」について新しい課題を克服しようと実践例を中心に内容をまとめた。各学校での活用を願いたい。 |
|---|